

電子添文改訂のお知らせ

2025 年 4 月

製造販売元：ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社
販 売 元：ヴィアトリス 製 薬 合 同 会 社

プロトンポンプ阻害剤
ラベプラゾールナトリウム錠

ラベプラゾールNa錠5mg「VTRS」
ラベプラゾールNa錠10mg「VTRS」
RABEPRAZOLE Na Tablets

プロトンポンプ阻害剤
ラベプラゾールナトリウム錠

ラベプラゾールNa錠20mg「VTRS」
RABEPRAZOLE Na Tablets

この度、標記製品の電子添文を次のとおり自主改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては、以下の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容】

改 訂 後			改 訂 前(波線部分：削除箇所)		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1（省略） 2.2 リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1（省略） 2.2 <u>アタザナビル硫酸塩、</u> リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]		
10. 相互作用 （省略） 10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10. 相互作用 （省略） 10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。	<u>アタザナビル硫酸塩（レイアタツ）</u> [2.2 参照]	<u>アタザナビルの作用が減弱するおそれがある。</u>	<u>本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</u>
リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。			

【改訂理由】

自主改訂

「禁忌」、「相互作用_併用禁忌」の項：

ラベプラゾールナトリウムの併用禁忌の相手薬として設定していた「アタザナビル硫酸塩」(代表的な製品名：レイアタツ)が製造販売中止(経過措置期間満了)されていることから「禁忌」、「相互作用_併用禁忌」の項を改訂する同一成分薬(パリエット錠：エーザイ株式会社)との整合を取り、改訂いたしました。

また、厚生労働省告示第六十三号(令和7年3月21日付)により「処方箋医薬品」指定が解除されたことに伴い、電子添文の「処方箋医薬品」の記載を削除いたしました。

本件に関するお問い合わせは、下記のコールセンター又はヴィアトリス製薬合同会社の製品担当 MR までお願い申し上げます。

お問い合わせ先：

ヴィアトリス製薬合同会社 メディカルインフォメーション部 フリーダイヤル：0120-419-043
〒106-0041 東京都港区麻布台一丁目3番1号

改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報(DSU)No.335(2025年4月発送)に掲載される予定です。
また、最新の電子化された添付文書は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページの「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)及びヴィアトリス製薬合同会社の医療関係者向けウェブサイト「Viatrix e Channel」(<https://www.viatrix-e-channel.com/index.php>)に掲載しております。
なお、以下のGS1バーコードを「添文ナビ」で読み取ることも、本製品の最新の電子化された添付文書等をご覧いただけます。

ラベプラゾール錠 5mg/10mg「VTRS」



ラベプラゾール錠 20mg「VTRS」

